

散布日	散布時期	散布薬剤 (水 100ℓ当り使用量)		使用時期	使用回数	散布量 (ℓ)	対象病害虫	注 意 事 項
／	第 1 回 3 月中下旬 発芽前	(水 88ℓ) スプレーオイル 石灰硫黄合剤	2ℓ 10ℓ	発芽前 休眠期	— —	300	腐らん病 ハダニ類 カイガラムシ類	① 混用順:スプレーオイルに石灰硫黄合剤を加用する。 ② 石灰硫黄合剤に代えてペフラン液剤 25 の 1000 倍(休眠期、6 回以内。ただし開花期以降は 3 回)を使用してもよい。混用順:ペフラン液剤 25 にスプレーオイルを加用する。
／	第 2 回 4 月中旬 (展葉後)	展着剤 パスポートフロアブル	10mℓ 100mℓ	45 日前	3 回	350	黒星病	① うどんこ病対策 コロナフロアブル 400 倍を加用する。
／	第 3 回 4 月下旬 (開花期)	展着剤 オルフィンフロアブル サムコルフロアブル10	10mℓ 25mℓ 20mℓ	7 日前 前日	3 回 3 回	400	黒星病・うどんこ病 ケムシ類、ハマキムシ類	① 黒星病対策 通常展着剤に代えて、ササラ 2000 倍を使用する。
／	第 4 回 5 月上旬 (落花後) (前回より 12 日後)	展着剤 オンリーワンフロアブル ユニックス顆粒水和剤 47	10mℓ 50mℓ 100g	7 日前 14 日前	3 回 4 回	500	黒星病、うどんこ病	① 黒星病対策 通常展着剤に代えて、ササラ 2000 倍を使用する。 ② アブラムシ類対策ウララDF2000 倍(14 日前、2 回)を加用する。
／	第 5 回 5 月中下旬 (前回より 12 日後)	展着剤 フルーツセイバー コルト顆粒水和剤	10mℓ 50mℓ 25g	前日 前日	3 回 3 回	500	黒星病、黒点病 うどんこ病、赤星病 アブラムシ類、カイガラムシ類	① 黒星病対策 通常展着剤に代えて、ササラ 2000 倍を使用する。 ② ケムシ類対策 フェニックスフロアブル 4000 倍(前日、2 回)を加用する。
／	第 6 回 6 月上旬 (前回より 15 日後)	展着剤 アントラコール顆粒水和剤 ダーズバンDF	10mℓ 200g 33g	45 日前 45 日前	4 回 1 回	600	黒星病、黒点病 斑点落葉病、褐斑病、炭そ病 シンクイムシ類、ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ リンゴワタムシ	① カイガラムシ類対策 アブロードフロアブル 1000 倍(30 日前、2 回)を加用する。 ② 枝腐らん病対策 トップジン M 水和剤 1,000 倍(前日、6 回)を加用する。
／	第 7 回 6 月中下旬 (前回より 15 日後)	展着剤 シトラノフロアブル スプラサイド水和剤	10mℓ 100mℓ 66g	45 日前 30 日前	3 回 2 回	600	炭そ病、輪紋病 斑点落葉病、褐斑病 シンクイムシ類 ハマキムシ類、リンゴワタムシ クワコナカイガラムシ、カメムシ類	① 早期ハダニ類抑制対策 ダニゲッターフロアブル 2000 倍(前日、1 回)を加用する。 ② 枝腐らん病対策 トップジン M 水和剤 1,000 倍(前日、6 回)を加用する。
／	第 8 回 7 月上旬 (前回より 15 日後)	展着剤 バイスロイドEW ジマンダイセン水和剤	10mℓ 50mℓ 200g	7 日前 30 日前	4 回 3 回	600	炭そ病、輪紋病 斑点落葉病、褐斑病 シンクイムシ類、ハマキムシ類 キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ	① 通常展着剤に代えて、固着性展着剤のアピオン E の 1000 倍を使用すると薬液付着効果が高まる。 ② 輪紋病対策:IC ボルドー412 の 33 倍を 7 月初旬に特別散布する。ただし、早生種にはボルドー液は使用しない。
／	特別散布 7 月中旬	展着剤 オーソサイド水和剤 80	10mℓ 100g	前日	6 回	600	輪紋病、炭そ病 斑点落葉病、褐斑病	① 散布時期は前回より 7 日後を目安とする。 ② 通常展着剤に代えて、固着性展着剤のアピオン E の 1000 倍を使用すると薬液付着効果が高まる。
／	第 9 回 7 月中下旬 (前回より 15 日後)	展着剤 ダニコングフロアブル オリオン水和剤 40 オキシラン水和剤	10mℓ 50mℓ 100g 200g	前日 前日 14 日前	1 回 2 回 4 回	600	輪紋病、炭そ病 斑点落葉病、褐斑病 ハダニ類、シンクイムシ類 ハマキムシ類、カイガラムシ類	① 通常展着剤に代えてササラ 2000 倍を使用すると薬液の広がりがよくなり、散布後の乾きも早くなる効果がある。
／	第 10 回 8 月上旬 (前回より 15 日後)	展着剤 コロマイト乳剤 エクシレル SE ダイパワー水和剤	10mℓ 100mℓ 20mℓ 100g	前日 前日 前日	1 回 3 回 3 回	600	輪紋病、炭そ病 褐斑病、斑点落葉病 ハダニ類、シンクイムシ類 ハマキムシ類、キンモンホソガ	① 通常展着剤に代えてササラ 2000 倍を使用すると薬液の広がりがよくなり、散布後の乾きも早くなる効果がある。
／	特別散布 8 月中旬	展着剤 バリアード顆粒水和剤	10mℓ 50g	前日	3 回	600	シンクイムシ類 カメムシ類	① 散布時期は前回より 7 日後を目安とする。
／	第 11 回 8 月中下旬 (前回より 15 日後)	展着剤 プリントフロアブル25 イカズチWDG オーソサイド水和剤 80 オマイト水和剤	10mℓ 50mℓ 66g 100g 133g	前日 前日 前日 3 日前	4 回 2 回 6 回 1 回	600	輪紋病、炭そ病、斑点落葉病 褐斑病、すす点病、すす斑病 ハダニ類 シンクイムシ類、ハマキムシ類 キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ	① オマイト水和剤はナシ類に登録が無いので、飛散しないように注意する。 ② 収穫前の桃等への飛散に注意する。
／	第 12 回 9 月上旬 (前回より 15 日後)	展着剤 ストライド顆粒水和剤 ダントツ水溶剤	10mℓ 66g 50g	前日 前日	3 回 3 回	600	炭そ病、斑点落葉病、褐斑病 すす点病、すす斑病、黒星病 シンクイムシ類、カメムシ類 キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ コナカイガラムシ類、リンゴワタムシ	① ストライド顆粒水和剤は、高温時に散布すると薬害が生じる恐れがあるので注意する。 ② ハダニ類対策 アカリタッチ乳剤 1000 倍(前日、一)を加用する。
／	第 13 回 9 月中下旬 (前回より 15 日後)	展着剤 ペフラン液剤25 ディアナ WDG	10mℓ 50mℓ 10g	前日 前日	3 回 2 回	600	すす点病、すす斑病 斑点落葉病、褐斑病 黒星病 シンクイムシ類、キンモンホソガ	① 中晩生種すす病・炭そ病予防他 ② ディアナWDGの使用倍率に注意する。
／	特別散布 9 月末 (前回より 10 日後)	展着剤 アリエッティ C 水和剤	10mℓ 100g	前日	3 回	600	炭そ病、輪紋病 すす点病、すす斑病 黒星病	① 晩生種すす病・輪紋病予防他 ② 収穫前の桃等への飛散に注意する。

◆ 安全・安心な農産物生産のために、防除・使用基準を厳守しましょう。

● 混用例：展着剤 ⇒ 液剤⇒ 乳剤⇒ フロアブル⇒ ドライフロアブル（DF）⇒ 顆粒水和剤（WDG）⇒ 水和剤⇒ 顆粒水溶剤⇒ 水溶剤

当防除暦の複製・コピーを禁止します。

